

2022年2月8日

各 位

会 社 名 株式会社五健堂
 (コード：9146 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役 蓮尾 拓也
 問合せ先 専務取締役 小林 一彦
 T E L 075-612-6688
 U R L <https://www.gokendo.co.jp/>

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年10月8日に公表しました2021年12月期における連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績予想の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,936	百万円 509	百万円 515	百万円 287	円 銭 258.25
今回修正予想（B）	6,732	374	664	401	360.03
増減額（B－A）	△203	△134	149	113	－
増減率	△2.9%	△26.4%	28.9%	39.6%	－

※2020年12月期は2020年4月1日から2020年12月31日までの9ヵ月決算となっているため、前期実績については記載しておりません。

2. 修正の理由

当連結会計年度のグループ売上高について、コロナ禍における巣ごもり需要の堅調さに支えられ、京滋エリアを中心とした食品スーパー等への食料品の物流を幅広く担っているロジスティクス事業は、全体としては比較的安定的に推移したものの、コロナ禍の影響を受けた外食産業への配送に関しては減収となり、時短営業の影響のあったフード&サービス事業の売上が、計画値に対して5%未達となったことと合わせて予想値を下回る結果になりました。また営業利益については、連結会計年度後半の燃料代高騰の影響もあり、原価率が2.4%上昇したことに伴い、営業利益が374百万円にとどまりました。

一方でフード&サービス事業において、営業時間短縮期間の長期化により、新型コロナウイルス感染症に係る時短要請協力金等を当初の見込みを上回る124百万円受給することとなり、営業外収益に計上いたしました。また、株式会社五健堂と株式会社F&Sで保険解約収入として合計66百万円を営業外収益に計上しております。これらを主因として親会社株主に帰属する当期純利益が、前回予想を上回る401百万円となりました。

以 上